

3年生としての学校生活を！

今年は集大成の年となります。3年生としての学校生活とは何でしょう？勉強？もちろんこれも大切ですが、勉強の基盤となるのが学校生活です。この一年が終わると、もう社会の一員として働くことも可能な年齢です。あいさつ、自分からできていますか？期限や時間を守ることはできていますか？クラスの中での自分はどうですか？後輩との関わり方はどうでしょう？小学校からこの中3までに、社会に出て必要なことを日々身につけてきたはず。あいさつ、号令、身だしなみ、時間など日々の生活の中にある行いが、自分の生き方の大きな支えになります。少し意識するだけで、皆さんにとっての「当たり前」になり、それを「素敵だね」「格好いいね」と周りの人から見てもらえるのは気持ちがよいことです。学校生活は推薦基準の目安にも大きく反映します。よく確認し、今からできることを大切に、1年後、どのような自分でいたいかをイメージし、その自分に近づくためにどうすればよいか考え、行動する1年にしてほしいと思います。自信をもって卒業できる自分を目指してください。



そして3年生は、事あるごとに「最後の…」がついてきます。どこか寂しい感じもしますが、最後の体育大会、最後の試合…、最後だからこそ行事や部活にも精一杯取り組んで、最高の思い出にしてください。一日一日に一生懸命だから毎日が楽しく、メリハリがあり学習にも身が入る、そんな3年生でいてくれることを願っています。

受験生としての学習とは？ ～四月から夏休み前まで～

普段はなかなか勉強に身が入らないこの時期に、受験生として最優先して何をしておくべきか？それは定期考査に全力投球することです。入試では3年生の内容から出題される割合も高くなるため、3年生の内容をしっかりと身につけておくことは、そのまま受験勉強へとつながります。ですから、定期考査に全力を尽くすことを心がけましょう。また、都立入試や私立の推薦関係では3年生二学期の内申点が反映されますが、これは一学期と二学期を総合して評価されるので、当然一学期からテストが重要になってくるのは言うまでもありません。今日は中間考査前日ですが、最後まであきらめず、全力で取り組みましょう。

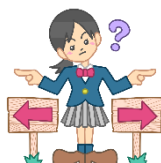


さて、ふだんの勉強においても、定期考査に向けて予習・復習を最優先するとよいです。英語なら、教科書に出てくる単語を覚えるとか、教科書本文を日本語訳できるようにしておく、数学であれば、因数分解やルートなどの計算が中心になるので、ミスなくスラスラ解けるようになるまで繰り返し練習するなど、目標を決めるとよいでしょう。

定期考査の結果は、内申点にも大きく影響します。すでに入試は始まっているつもりで、定期考査に取り組んでいきましょう。そして、定期考査が返却されたら、間違った問題はすぐにやり直しをします。弱点を残したまま次の単元に進むと、後から取り返すのは大変です。まさに「鉄は熱いうちに打て」です。忘れる前に定着を図りましょう。定期考査以外では、「英検」「漢検」などの検定を受検予定の人は、計画的に勉強を進めましょう。私立高校によっては、取得した検定により加点される場合もあります。

進路とは、『自分の生き方(どのように生きていくか)を考える』ということ

この1年は、中学卒業後の進路を考えるために自分と向き合う日々が待っています。進路とは、「自分の生き方(どのように生きていくか)を考える」ということです。高校受験は中学校卒業後の進路選択の1つであって、「進路＝高校受験」ではありません。大切なのは、「自分は、どんな生き方をしたいのか」ということと、それを実現させるために「今、何をしなければならないのか」、「今後、どうすればよいのか」を真剣に考えることです。自分自身の進路を切り拓いていくためには、現実と向き合い、目標をもち、その達成に向けて努力を重ね、成長をしていくことが大切です。「なぜその進路選択をするのか…」、「どのように取り組むのか…」、「何をするのか…」、いくつもの視点で自分の人生を考え、挑戦し、結果を受け入れ、歩みだしていけるように、自分の人生をじっくり考え、選択する1年にしてほしいと思います。「自分の道は自らの手で切り拓く」、この一歩が中学卒業後の進路選択です。この1年間、ぜひ自分の将来について考えながら生活してみてください。そして、自分で行きたくる情報を集め、いろいろな人と相談して考えながら目の前の大きな決断に向けしっかりと準備して、最



後は自分の意志で決断することが大切です。

皆さんにとっては、これから始まる1年に「進路選択・決定」という、経験したことがないものが含まれていて不安に思うかもしれません。そんな風に不安を抱えているのは自分一人だけではなく、皆さんの周りにも同じ思いを抱きながら新年度をスタートさせているはずで、受験は、個人戦のように見えて、団体戦でもあります。第3学年291名。目指す先は291通りの進路があります。どれがよい、どれが優れている、ということではありません。なにかを目指してそこに向かうために頑張ろうとする過程は、全員に共通です。その共通の思いが励みとなり、困難な状況も乗り越えていくことができるのだと思います。自分が選んだ道に自信がもてるように、仲間が選んだ道を応援できるように、この一年間、最後の1人が決まるまで励まし合い、支え認め合い、絆を深め、「仲間」と一緒に歩いていきましょう。3月の卒業まで、第一中学校の先生たちも、皆さんの進路実現に向けて全力でサポートしていきます。1年後、3年生全員が納得の笑顔で卒業できるように、一緒に頑張っていきましょう。

～保護者の皆さまへ～

いよいよ義務教育最後の1年が始まりました。第3学年では「学年だより」に加えて、「進路だより」の形で進路関係の情報をお伝えします。今年度、お子様は「自分の道＝進路」を選択し、切り拓いていくという、大きな一歩を踏み出します。心も体も変化の大きいこの時期に、様々な困難にぶつかったり、悩み、心が揺れ動くこともあるかと思います。そばで寄り添い、お子さまの希望や話を聞き、時には背中を押して応援していただけると、大変心強いかぎりです。ぜひ、ご家庭でじっくりと話し合う時間をつくり、お子さまと意思を伝えていただければと思います。3年教職員一同、ご家庭との連携をより一層強め、一人ひとりの進路実現に向けて精一杯サポートしていきます。ご不安な点やご不明なことなどございましたら、気軽にお問い合わせ下さい。1年間、どうぞよろしく願いいたします。



進路関係 インフォメーション

進路だより「羅針盤」やクラスルーム「R08 第3学年進路」、理科室前の進路コーナーで、進路情報を提供していきます。それぞれの学校で、どのようなことを学ぶことができるのかを確認してください。また、気になる学科・学校があれば、各学校のホームページを見ても、さまざまな情報が載っています。確認してみましょう。

奨学金関係

- ※ 奨学金の種類は色々ありますが、奨学金を利用するためにはさまざまな条件を満たす必要のあるものが多いです。また、入学支度金の貸付など、中学校を通さずに申請できるものもあります。都の広報なども、日ごろから目を通しておくとよいでしょう。
- ※ 奨学金制度の利用を考えている場合は、早めに担任まで申し出てください。

①あしなが育英会による「2027年度 あしなが高校（高等専門学校）奨学金」

募集期間 2026年9月1日から12月15日

奨学金月学 30,000円（給付）

※私立高校入学一時金（30万円）を貸与する制度もあります。送金は入学後。別途審査あり。

募集人数 1,100人程度

返還 私立高校入学一時金は、高校卒業の半年後から20年以内に無利子で分割返済

問い合わせ 一般財団法人あしなが育英会 学生事業部 奨学課

〒102-8639 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館本館4階

電話 (03) 3221-0888 FAX (03) 3221-7676

E-mail: shougaku@ashinaga.org

<https://www.ashinaga.org>

右のQRコードを読み取ると、アクセスできます。

